

休憩施設等の対策強化(案)

● 物流、バス事業者の声

- ・多くのSA・PAが大型車の駐車スペースまで一般乗用車が駐車し、休憩・仮眠場所を探すのに手間取り休憩・仮眠が少なくなる等の支障が出た。
- ・SA・PAでの駐車スペースがないため、トラックが減速車線や加速車線にまで駐車を余儀なくされている。
- ・SAで仮眠をとり翌日出発しようとしたら、駐車スペースのない乗用車がトラックの前に駐車していたため出発するのに苦労した。
- ・乗用車が大型車の駐車マスを利用しており、バスを駐車できないため乗客の安全が確保できない。

等



お盆時期の対策

- 物流、バス車両の駐車スペース(大型車マス)を確保します。
 - 駐車場整理員による誘導強化
 - ラバーコーンの設置等により、乗用車の駐車を抑制
- 重点的に確保する箇所を設定し、事前に物流、バス事業者やお客さまにお知らせします。
 - 東北道、東名、名神、山陽道、九州道 等

上記の他、一般のお客様の声などを踏まえて、以下の対策を行います。

- 仮設トイレの設置、携帯トイレの配備
 - GWにトイレが不足していた箇所に仮設トイレを増設
 - 緊急時配布用の携帯トイレの配備を増強
- 渋滞予想区間における店舗の営業時間延長
- 清掃従業員の増員 等